

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年12月3日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 96
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～三重地区4校合同特別支援教育講演会～

11月29日（金）畝刈小学校体育館において、三重地区4校合同特別支援教育講演会を行いました。参加者は保護者、地域の関係機関、教職員およそ50名でした。

今回は長崎県立鶴南特別支援学校特別支援教育コーディネーターの先生を講師としてお招きして「特別支援教育と進路～一人一人に応じた進路～」と題しての講演でした。

講演の中では、「**子供理解のための視点や方法**」「**特別支援教育とは何か**」「**インクルーシブ教育システムとは**」豊富な実務経験を基に法令に触れながら詳しくお話していただきました。

最大の関心は、「**進路**」についてです。どのような形で実現していくのか、子供たちが進学し卒業してからの就職の仕方には様々な方法があることや、一度就職をしても子供たちに合った就職先に変更することもできること、生活の基盤も選択肢があることを教えていただきました。

何より今の子供たちの現状を周囲の大人がしっかりと理解・把握し支援していくことが子供たちの将来につながっていきます。様々な視点や方法で子供たちを導き、大切に育てていきたいですね。



どの子供たちも生きやすい世の中にしていくためにも、まだまだ理解を広め、深めていく必要があります。

前述の「インクルーシブ教育システム」という言葉をご存じの方も多いかと思います。

「障害のある者と障害のない者が可能な限りともに学ぶ仕組み」のことになります。

畝刈小学校でも、様々な場面で全ての子供たちがともに学ぶ場面があります。その際に必要なのは、周囲の理解と配慮です。このことに関して、畝刈小学校は少しずつですが、前進していると思っています。

全ての子供たちの幸せのために、様々な機関と連携しながらともに手を取り合い、子供たちを支えてまいりましょう。